

消防 なんでも 南部分署



第39回消防救助技術大会（陸上の部）



5月24日、消防署員の体力・救助技術を競う「消防救助技術大会」が県消防学校において開催されました。県下13消防本部から厳しい暑内選考会を突破した代表選手が参加。阿蘇広域消防本部からも26人の職員がさまざまな種目に出場しました。大会では、応援に来られていた地域住民の方々に日ごろの訓練の成果をアピールする事ができました。

もしおぼれている人を発見したら

小学校や中学校ではプールの授業が始まり、海水浴場でも海開きが行われるなど、水に触れる機会が増える季節になりました。この時期に増えるのが水の事故です。もし自分の周りでおぼれた人を発見したら、次のように行動してください。



- ① 大声で助けを呼ぶ。
※ 一一九番へ通報して消防隊を呼ぶ。
- ② 泳ぐ自信があっても、決して自分で助けに行かない。
ペットボトルやランドセルなど、浮力があり、浮き輪の代わりになるものを探し、おぼれている人に渡す。
- ③ おぼれている人に声を掛け、安心させて「浮いて待つ」ように指導する。

■ お問い合わせ先
阿蘇広域消防本部南部分署 TEL (0)6(2)90034

こちら 高森警察署 です!



夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止

「少年非行等の現状」

本年4月末の刑法犯少年は347人で、前年同期と比べ42人(13・8%)増加しています。特に、中学・高校生の占める割合は253人(72・9%)と高水準で推移しています。

また、万引きや自転車・オートバイの窃盗など他の犯罪につながりやすい「初発型非行」が全体の65%を占めており、中でも自転車盗やオートバイ盗で検挙した少年が前年同期に比べ29人(48・3%)増加しています。これから夏休みを迎え、開放感や気の緩みから非行に走ったり、強制わいせつなどの性犯罪や児童買春などの被害に遭うケースが目立ってきますので、次の点に注意してください。

- 「夏休み中の少年非行・家出を防止しましょう!」
毎日の生活で、子どもの言葉や生活態度に注意して、次の「非行の兆し」を早期に発見し、適切な指導を行って非行の未然防止に努めましょう。
- 帰宅時間が遅くなったり、深夜外出・無断外泊が多くなる。
- ウソをついたり、ソワソワして落ち着きがなくなる。
- 付き合う友達が変わり、服装が派手になったり、化粧をする。
- 携帯電話の使用時間が長くなる。

巡回連絡へのご協力をお願いします

- 巡回連絡は、制服警察官が各家庭や事業所を訪問し、振り込み詐欺の予防や交通事故防止等の指導連絡等を行います。
- ご家族の構成や非常時の連絡先等をお聞きします
が、災害等の非常時に活用されます。
- 巡回連絡の際、警察官に対しての要望、相談等もお気軽にお話しください。

■ お問い合わせ先
高森警察署 TEL (0)6(2)0110

知っておきたい 税情報



中学・高校生の税に関する作文募集

国税庁では、今年も高校生の皆さんから税に関する作文を募集します。

テーマは、自分や家族の体験を通して、税について自分が考えたことなど、税に関するものであれば何でも結構です。

字数は、八百〜千二百字以内、締め切りは9月6日(金)となっております。

そのほか、国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会では、中学生の皆さんを対象に税についての作文を募集します。

字数は千二百字以内、締め切りは9月5日(木)です。詳しくは、阿蘇税務署にお尋ねになるか、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) をご覧ください。

国税局職員を装った不審な電話に注意を

今年の4月以降、国税局や税務署の職員を装い、「年金額はいくらか?」「預貯金額はいくらか?」「家族構成と年齢を教えてください」などと高齢者へ尋ねる不審な電話が急増しています。

国税局・税務署職員を名乗る電話で不審な点があるときは、即答を避け、相手の所属部署、氏名、電話番号を確認した上でいったん電話を切り、熊本国税局(納税者支援調整官)または阿蘇税務署(総務課)にお問い合わせください。

詳しくは、阿蘇税務署にお気軽にお尋ねになるか、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) をご覧ください。

■ お問い合わせ先
熊本国税局 TEL 096(3)54(6)171
阿蘇税務署 TEL 0967(22)0551